



企業向けカーボン・オフセット支援業務 ご説明資料

国内外の再生可能エネルギー・クレジットから選べる、
小口利用にも対応したトータル支援 -

Value Frontier株式会社
2009年

ご担当者各位

～カーボン・リスクをカーボン・チャンスに～

2008年からいよいよ京都議定書の第1約束期間が始まりました

このことは温室効果ガスが無制限に排出できる時代は終わり、排出規制が厳しくなる「炭素制約時代」が幕を開けたことを意味しています。世界的には2050年までに温室効果ガスを50%削減することが洞爺湖サミットでも確認され、先進国は中長期的に大幅に削減することを、国際社会から求められることとなります。

国内でもCO2削減への社会的圧力が現実のものとなってきました。2008年10月より試行排出量取引制度が導入され、2009年より施行される改正省エネ法では、エネルギー使用量の報告義務対象事業者が拡大されます。2010年からは、東京都によるCO2の総量排出規制も開始されます。一方で企業の地球温暖化対策に関心を寄せる消費者も増えているだけでなく、金融機関や投資家においてもCO2対策を投融資の基準として評価する動きが出てきています。

このような中、自社の活動によるCO2排出量を先行して削減することで、将来の規制リスクに備え、積極的に社会貢献活動を商品やサービス開発に活用する試みが始まっています。弊社はその1つの手段として、カーボン・オフセットをご提案しており、そのために必要なコンサルティングから排出権のご利用まで一環した支援サービスをご提供しております。カーボン・オフセットの専門家が、企画段階から一緒に最適な環境コミュニケーション方法を検討し、オフセットの具体的な活用をご提案、実現までサポートいたしますので、まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

基本的なご質問から具体的な企画のご相談まで、まずはお気軽にお電話下さい。

お問い合わせ: TEL 03-5422-9462

本サービスの特徴

1. 専門家によるCO2排出量算定、省エネ・アドバイス

カーボン・オフセットの基本は、確かなCO2排出量の算定と自助努力による削減にあります。弊社では、エネルギー管理士を含む専門家が責任を持って、精度の高い排出量算定を行い、また省エネのための運用・設備改善アドバイスを行います。

2. 高い信頼性と、マーケティング効果を高める企画・立案

カーボン・オフセットは、企業の環境や地球温暖化への姿勢を伝える有効な手段です。その普及に伴って、信頼性に対する消費者の目が厳しくなっています。弊社では、取組の信頼性を高めるために第三者による検証を受け、調査報告書をホームページ上で公表しています。また消費者や投資家へ確実にメッセージを届けるためには、マーケティング的な視点も重要です。弊社ではオフセットの専門家とマーケティング経験が豊かなスタッフがチームを組み、ご要望と目的に適った効果的なオフセット企画を立案いたします。

3. 国内外の再生可能エネルギー由来のクレジットをご提供

カーボン・オフセットに用いるクレジットは、確かな認証を受けたものでなければなりません。また弊社は再生可能エネルギー普及のために、クレジットは風力や太陽光、バイオマスなどの事業に限定してご提供しております。国連が発行するCERは、弊社が予め調達したクレジットを1トンからご利用いただけます。また国内では、グリーンエネルギー認証センターが認証するグリーン電力証書も扱っており、クライアント様のご要望、ご予算、企画趣旨などに沿って、産地や電源をお選びいただけます。

ご導入までの流れ

排出量算定からオフセット証書の発行まで、 カーボン・オフセットに必要なサービスをワンストップでご提供いたします。

1. ご相談・ヒアリング

カーボン・オフセットを活用したいという漠然としたイメージをお持ちの方から、具体的な目的(自己使用・イベント・商品・サービス企画等)を想定されている方までまずはご相談下さい。御社のニーズやご予算をお伺いします。

2. CO2排出量算定

企画の内容に沿って算定に必要なデータの調査・分析を行い、CO2の排出量を算定します。カーボン・オフセットに最も大切な排出量の算定を責任を持って行うことで、取組の信頼を高めるサービスをご提供します。

3. カーボン・オフセット企画のご提案

算定内容に基づき、カーボン・オフセット商品やサービスの企画・ご提案を致します。自己活動のオフセットの場合はご要望に応じて省エネによる運用・設備改善のコンサルティングも行っています。詳しくはお問い合わせ下さい。

4. クレジットのお見積り・決定

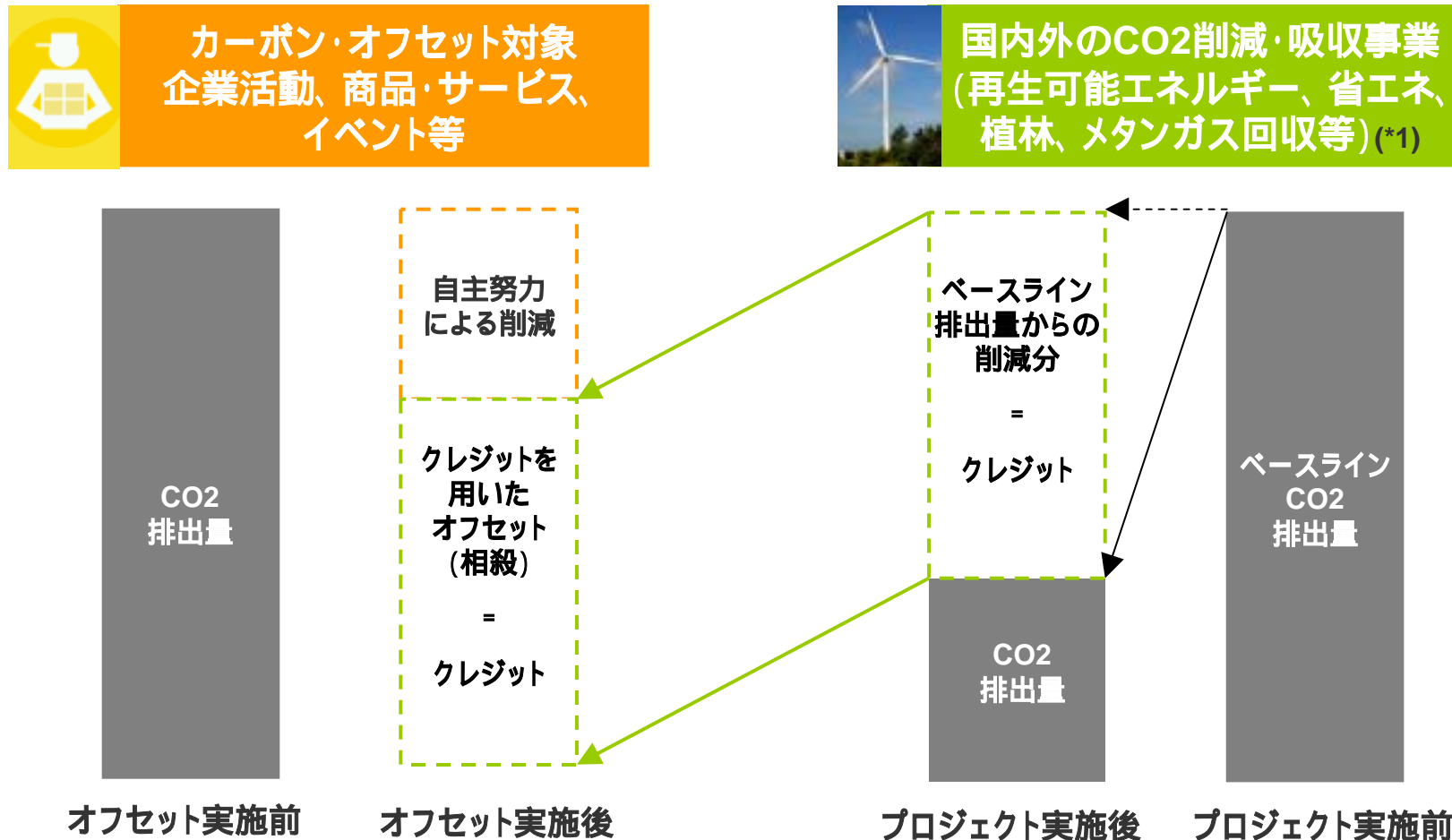
カーボン・オフセットを実施する際のクレジットは海外の排出枠クレジット(CER)と、国内の再生可能エネルギーを活用したグリーン電力証書の2種類からお見積り致します。クレジットを選択して頂くと、オフセットにかかる費用が確定します。

5. 証書・ロゴのご提供 オフセットの完了

カーボン・オフセットを証明する証書やロゴをご提供致します。商品・サービス等にご利用下さい。

カーボン・オフセットとは？

自らの活動によって排出されるCO2を、できるだけ自主努力で削減し、削減が難しい排出量については、クレジットを利用してオフセット(相殺)することです。



(*1) 弊社ではこれらのうち、再生可能エネルギー事業によるクレジットのみを取り扱っております。

ご利用シーンと導入のメリット

カーボン・オフセットは主に以下のようなシーンで利用されています。

1. 自己活動のオフセット

工場や事業所、通勤・出張などから排出するCO2を相殺できます。



2. イベントのオフセット

コンサート・展示会・株主総会など、CO2ゼロのイベントを実現できます。



3. 商品・サービスのオフセット

旅行、宅配サービス、レンタカー、玩具等、CO2ゼロの商品・サービスを実現できます。



< 導入による主なメリット >

1. 効率的なCO2削減対策
2. 環境・CSR・広報活動の効果的PR
3. 商品・サービス販促における差別化

排出権クレジットのご説明 CER (Certified Emission Reduction)



国連が発行するCERを1トン-CO2からご利用いただけます。

CER (認証排出削減量)

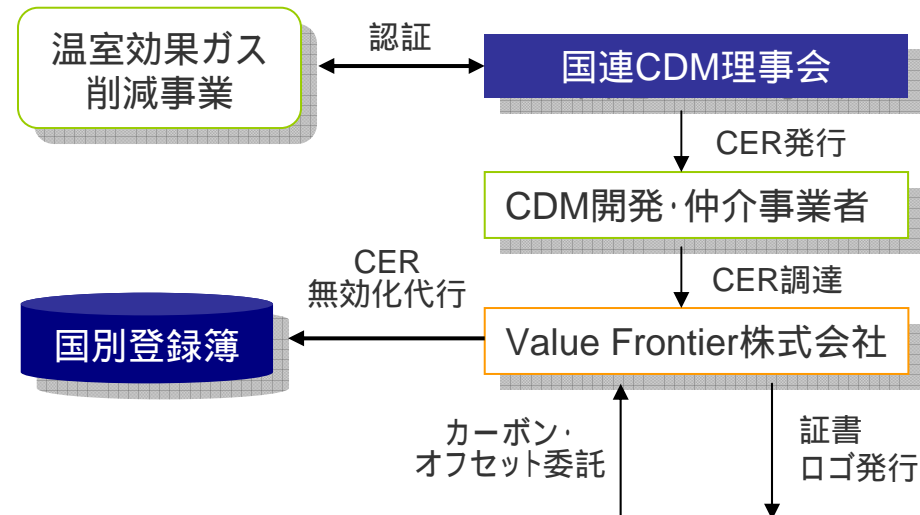
京都メカニズムにより国連が取引を認めている排出権の1つ。京都議定書による削減目標を持つ先進国が、開発途上国において温室効果ガスの削減・吸収事業を行い、国連のCDM理事会による有効化審査、検証、認証を経て発行されるクレジット。

オフセットの手続き

弊社が取得したCERは、国別登録簿に弊社が開設した管理口座に保管。クライアントのオフセットに用いられた分は、委託契約から1年以内に無効化手続きを行い、弊社HPにて公開。無効化は、日本政府の目標達成に貢献する**償却**と、地球上からのCO2削減に貢献する**取消**から選べる。

クレジットの利点

国連のCDM理事会による、厳格な審査を経て認証されているため、最も信頼性が高い。事業によっては、温室効果ガス削減以外にも、環境・社会面で開発途上国地域の持続可能な開発に貢献することもできる。





【当社が発行する証書】



【当社が発行するロゴ】

ご利用企業

自己活動やイベント商品・サービス等をカーボン・オフセット

排出権クレジットのご説明 グリーン電力証書



**グリーンエネルギー認証センターが認証するグリーン電力証書を
1,000kWhからご利用いただけます。**

グリーン電力証書

グリーンエネルギー認証センターにより、グリーン電力設備認定を受けた発電所から発電される電気の環境価値分を証書化して取引するシステム。国内では年間4億kWhの取引が行われており、CO2削減価値としてカーボン・オフセットにも活用されている。(*2)

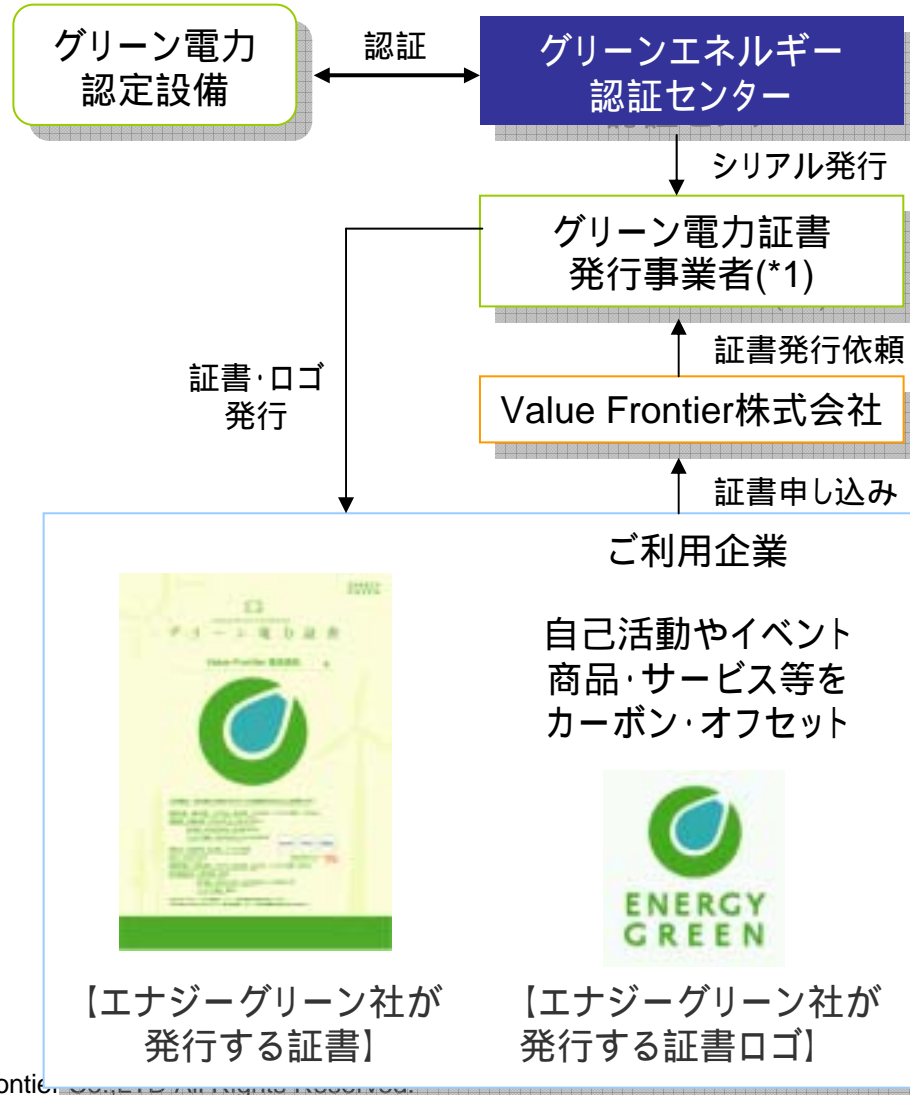
オフセットの手続き

弊社はクライアント様からの申し込みを受け、証書発行事業者に、認証済みのグリーン電力証書の発行を依頼する。クライアント様に発行されたシリアルナンバーの有効性は、グリーンエネルギー認証センターのホームページ上で確認することができる。

クレジットの利点

国内の再生可能エネルギーの普及、拡大に貢献できる。電源の種類(太陽光、風力、地熱、水力、バイオマス)や産地を指定することができる。

(*1)弊社はグリーン電力証書発行会社、エナジーグリーン(株)とグリーン電力証書の販売・電源開発において業務提携を行っております。
(*2) CO2削減価値は参考値であり、グリーン電力証書をオフセットに用いるための認証基準については、現在国が検討を進めています。



弊社事例紹介 (株)ICSコンベンション・デザイン様

イベント / CER

コンサルティング / クレジット



当社では、(株)ICSコンベンション・デザイン様が運営する企業クライアント向けのイベント、コンベンションのカーボン・オフセットを実施しております。

イベントのオフセット例

- ・内容: パートナー向けイベント
- ・会場: 都内某ホテル宴会場
- ・オフセット割合...100%
- ・使用クレジット...発行済CER



算出対象	CO2排出量(トン)
会場エネルギー	5.0
交通	1.0
設営・配布物	37.7
参加者の飲食	0.2
廃棄物	0.1
合計	44.0

弊社事例紹介 (株)損害保険ジャパン様

イベント / グリーン電力証書

クレジット



環境について、楽しく学ぼう!! 市民のための環境公開講座



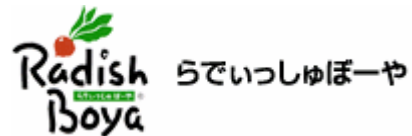
当社は、社団法人日本環境教育フォーラム、財団法人損保ジャパン環境財団および株式会社損害保険ジャパンの、三者共催で行われる「市民のための環境公開講座」のカーボン・オフセットをご支援させて頂きました。

会場の電力使用量と温水利用によるCO2排出分をグリーン電力証書で100%オフセットしました。

弊社事例紹介 らでいっしゅぼーや(株)様

商品 / CER

コンサルティング / クレジット



当社では、界面活性剤不使用の洗濯用洗剤『バジャン』のカーボン・オフセットを株式会社ライトウェーブ、らでいっしゅぼーや株式会社と共同企画しました。

商品の製造、輸送、洗濯時に排出されるCO2排出量を算出し、CERで100%オフセット。

すすぎ1回設定による省エネ、節水(界面活性剤不使用により可能)とオフセットにより、洗濯によるCO2削減を提唱する商品として、らでいっしゅぼーや会員限定で発売中。

 **バジャンのCO₂ゼロ洗濯**
CO₂ ZERO WASHING

■CO₂ 排出量: 15.3-CO₂kg (5.0kg 製品)
■オフセットされている量: 15.3-CO₂kg (排出量の100%)

○本製品 (5.0kg) の製造、輸送、使用 (すすぎ1回設定でお洗濯110回分) により排出される15.3kg-CO₂ は、インドの風力発電事業 (京都議定書で定められたクリーン開発メカニズム) によるクレジットでオフセットしています。

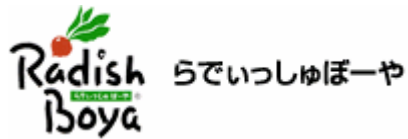
○CO₂フリーでお洗濯をするために、洗濯機のすすぎは1回に設定して使用して下さい。バジャンは界面活性剤を使っていないため、すすぎ1回でも安心してご利用いただけます。詳細は <http://www.valuefrontier.co.jp/> をご覧下さい。



弊社事例紹介 らでいっしゅぼーや(株)様

商品 / グリーン電力証書

クレジット



当社は、らでいっしゅぼーや株式会社様が販売する、夏休みの4日間をグリーン電力で過ごすことができる『オーガニックTシャツ』の企画にご協力させて頂きました。

グリーン電力証書付き
『オーガニックTシャツ』



グリーン電力証書
オフセット『い草』

当社は、らでいっしゅぼーや株式会社様が販売する、国内初のグリーン電力証書による国産い草製品のカーボン・オフセットの企画(熊本県知事賞受賞)にご協力させて頂きました。

自己活動のオフセット事例

- ・JCBは、東京青山の本社ビルから排出するCO₂(8,000トン)をCERで相殺。
- ・カタログハウスは、本社ビル、店舗、物流センター等から排出するCO₂(約1,000トン)をグリーン電力証書で相殺。
- ・米ヤフーはカーボン・ニュートラル化を目指すことを発表。風力、水力発電を購入または投資し、排出した年間25万トン分を相殺。
- ・米グーグルは自社エネルギーの削減、再生可能エネルギーの活用などで2008年までにカーボン・ニュートラル化することを宣言。
- ・HSBCは金融機関として初のカーボン・ニュートラル化を導入。
- ・米DELLは、世界の事業で排出するCO₂を相殺するカーボン・ニュートラル化に取り組むことを発表。あわせて消費者がコンピュータの使用で排出したCO₂をオフセットできる植林プログラムも実施。

イベントのオフセット事例

- ・日本国政府は、洞爺湖サミット開催で排出したCO₂(未定)をCERやグリーン電力証書で相殺。
- ・損害保険ジャパンは、市民向け環境講座の開催で排出するCO₂(約11トン)をグリーン電力証書で相殺。
- ・JTB関東は、群馬県太田市「ぐんまフェア」で「オフセット・パーキング」を実施。駐車場チケット1枚につき、CO₂26.8kg分のオフセット料金を上乗せし、車で来場する観客に気づきの機会を提供。

商品・サービスのオフセット事例

- ・木楽舎(「ソトコト」を販売)は、CERを使った365kg-CO₂排出権付き定期購読プログラムを実施。
- ・らでいっしゅぼーやは、いぐさ製品(畳など)の製造で排出するCO₂(約13トン)をグリーン電力証書で相殺。
- ・JTBエースは、グリーン電力証書を活用した、「CO₂ゼロ」旅行を展開。旅行の移動により排出されるCO₂をオフセット。
- ・日本旅行は、CERを活用した「カーボン・オフセット」旅行を展開。将来はイベント・ウェディングのメニューを充実。
- ・小田急電鉄は、グリーン電力証書を活用し、期間限定の風で走るロマンスカー「風力電車」を実現。
- ・日本コカコーラは、ローソンでコカコーラの飲料を1本買うと両社がCER1kg分を買い取る取り組みを開始。
- ・日産は、日本初の「排出権付き乗用車」発売。新型マーチを1台販売するごとに1トンのCERを購入。
- ・米DHLはCO₂を排出しない宅配便サービスを提供。顧客は代金2%の上乗せでオフセットが可能。

お問い合わせ



カーボン・オフセットの基本的な考え方や仕組み、具体的な活用方法をお知りになりたい方まで、弊社の担当者が親身に対応させていただいております。

まずはお電話、Eメールにてお気軽にご連絡ください。

【カーボン・オフセットに関するお問い合わせ先】

Value Frontier株式会社

担当者:梅原

TEL: 03-5422-9462

FAX: 03-5422-9463

Eメール: info@valuefrontier.co.jp

URL: <http://www.valuefrontier.co.jp>

【麻布オフィス】〒106-0047 港区南麻布4 - 13 - 7 鈴掛ビル6階